

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公開番号】特開2017-86751(P2017-86751A)

【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2015-223924(P2015-223924)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
未だ開始していない可変表示に関する情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段と、  
前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶に対応して保留表示を表示するとともに、  
前記有利状態に制御される可能性に応じて段階的に保留表示の表示態様を変化可能な保留  
制御手段と、を備え、  
前記保留制御手段は、

保留表示のパターンとして、第1状態では第1表示パターンにて保留表示を表示し、前  
記第1状態とは異なる第2状態では前記第1表示パターンとは異なる第2表示パターンにて  
保留表示を表示するとともに、前記第1表示パターンと前記第2表示パターンとで同一  
段階の保留表示を表示する場合には共通の報知音を出力可能であり、

報知音の出力を伴う保留表示を同一期間に複数表示可能である、  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

(1) 上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、  
可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
未だ開始していない可変表示に関する情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段（例  
えば特図保留記憶部など）と、

前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶に対応して保留表示を表示するとともに、  
前記有利状態に制御される可能性に応じて段階的に保留表示の表示態様を変化可能な保留  
制御手段（例えばステップS513の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、  
を備え、

前記保留制御手段は、

保留表示のパターンとして、第1状態（背景の種類が「背景A」であるなど）では第1

表示パターンにて保留表示を表示し、前記第1状態とは異なる第2状態（背景の種類が「背景B」など）では前記第1表示パターンとは異なる第2表示パターンにて保留表示を表示するとともに、前記第1表示パターンと前記第2表示パターンとで同一段階の保留表示を表示する場合には共通の報知音を出力可能であり（例えば図20に示す表示態様および出力音にしたがって表示および出力する演出制御用CPU120など）、

報知音の出力を伴う保留表示を同一期間に複数表示可能である、

ことを特徴とする。